



れんごう ふくおか

No. **419**

RENGO FUKUOKA

2025年9月25日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人・編集人：吉村淳治
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

2025年度 政策・制度要求を服部県知事へ提出

＝ 『働くことを軸とする安心社会』の構築に向け6分野28項目 ＝

連合福岡は、9月2日、福岡県の服部知事に、働く皆さん福岡県で暮らす皆さんの視点に立った「2025年度政策・制度要求」を提出しました。また、今年度は重要性や優先度を鑑み「労務費を含む適切な価格転嫁」をはじめとする適切な価格転嫁・適正取引の推進、住民の生活に直結する地域インフラの防災や減災対策、教職員未配置の解消、働く環境の整備への対応など、13項目を重点項目として設定いたしました。

連合福岡の吉村会長代理は、申入れにあたり、以下3点について強調し挨拶した。

- (1) 今年度の要求は昨年の回答の受止めおよび昨今の状況を勘案し、要求を取りまとめた。また、今年度は重要性や優先度を鑑み重点項目13項目を設定させて頂いた。2025春闘では過去最高の昨年を上回り、最低賃金も過去最高の65円引上げ1,057円で結審した。これは物価高騰・人手不足などを背景にした結果と認識するとともに、適切な価格転嫁が一定程度の浸透もあったものとする。一方で、この流れを一過性のものとせず、来年度以降の継続に向けては、まだ道半ばである労務費を含む適切な価格転嫁・適正取引が重要である。福岡地方最低賃金審議会からは「建議」という形で提出されており、福岡県においては、引き続き強いリーダーシップのもと、「労務費を含む適切な価格転嫁・適正取引」に向けた取り組みの推進をお願いしたい。
- (2) また、残念ながら本年も8月の大雨が発生した。犠牲になられた方、被災者の方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げたい。毎年のように起こっている自然災害をはじめ、暮らし・生活と直結する地域インフラの老朽化も含めた対策は重要である。働く者・生活者の立場からの要求として6分野28項目(59小項目)について受止めて頂き、鋭意ご対応願いたい。と訴えた。
- (3) 最後に、今年は戦後80年。連合も平和の取り組みを実施しており、8月には1週間、福岡県庁にて「原爆パネル展」を開催させて頂いた。引き続き、平和を風化させない取り組みに対するご協力もお願いしたい。



手交式 (吉村会長代理から服部県知事へ)



申入れ式模様 (吉村会長代理あいさつ)

服部県知事は、2025年度政策・制度要求に対して「これからの県政運営の中で、また来年度の予算編成に向けて、しっかりと検討させて頂きたい」と述べられました。あわせて、今年度の春闘における昨年を上回る高い賃上げ率を踏まえ、賃上げを持続的に行える環境を作るため「価格転嫁の円滑化に関する協定」のもとで関係団体と協力して取り組みを続けていくと述べるとともに、刻々と変化している社会経済情勢に対して、「迅速に、的確に対応していくことが必要であり、これからもしっかりと努めてまいります」とあいさつされました。

要求書

連合福岡のHPに掲載しています。



申入れ式模様 (服部県知事あいさつ)



映画「鬼滅の刃」が国内だけでなく世界的にも大ヒットし、日本映画史に新たな記録を刻んでいる。作品の力に加え、圧倒的な映像美が大ヒットの要因だと思うが、とある国では当初、人気が出ていなかったらしい。というのが「鬼滅の刃」というタイトルが「夜の徘徊者」という翻訳

だったそうだ。(どう訳したらそうなるのか、その後タイトルを改題して大ヒット)

いろんな場面で企画書や報告書をまとめる機会があるが、どんなに素晴らしいものでも、最初の印象で変わってしまう。読み手の心を惹きつける文脈を心掛けたい。

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

連合2025平和行動 報告

連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現には、社会の平和と安定が不可欠です。連合は結成以来、「平和なくして、労働運動なし」という信念のもと活動を展開しています。

広島 (8/5～6)

- 被爆路面電車学習会
- 連合2025平和ヒロシマ集会
- 連合・戦没者慰霊式



被爆路面電車学習会では、新しくなった広島駅のコンコースを出発し、連合広島青年委員会ピースガイドの説明を受けながら、広島市内の被爆建物を巡りました。乗車した路面電車は原爆が投下された当時、広島港附近を走行中に被災したものの、復旧され現在も平和学習などで利用されているそうです。運行する広島電鉄株は広島市内の公共交通が壊滅的な状況のなか、3日後には西天満町～己斐間で運行再開し多くの市民を勇気づけたという話が印象的でした。平和ヒロシマ集会へ参加後、原爆ドーム前に移動し、参加者全員で献花を行いました。



被爆路面電車



派遣団のみなさん

長崎 (8/8～9)

- 連合2025平和ナガサキ集会
- ピース・ウォーク

平和ナガサキ集会の被爆者の訴えの中で、「原子爆弾をつくってはいけない。つくらせないためには、戦争を絶対にしてはいけない。80年続いている平和を守ることがとても大事」と心に響く訴えがありました。ピース・ウォークでは原爆投下中心地公園や平和公園内の原爆慰霊碑や記念碑をめぐり、長崎の歴史について理解を深めました。
※大雨の影響により「万灯流し」は中止となりました。



千羽鶴献納にご協力いただいた北九州地協青年委員会のみなさん

根室 (9/6～7)

- 北方四島学習会
- 連合2025平和ノサップ集会



初日には、北方四島学習会が根室市内の3会場で分散開催されました。島の現状、北方領土問題や元島民方々の「島に戻りたい」という願いなど、平和運動の輪を広げていくことを、様々な観点から深く学びました。

2日目の納沙布岬・望郷の岬公園で2025平和ノサップ集会が開催され、全国から653人の仲間が結集しました。集会では、元島民の方（函舞諸島出身）が壇上に立ち、望郷・返還の思いを切々と訴えられました。

今回、参加した仲間が現地では受け取った「故郷への思い」を胸に、今後も北方領土返還運動に粘り強く取り組んでいきます。平和な未来を次世代につなぐため、私たち一人ひとりの関心が大きな力となります。



北方領土返還祈念シンボル像 (四島のかげ橋)



派遣団のみなさん

原爆パネル展 (8/1～8/8)



平和行動の他に、全国平和運動強化期間の取り組みの一環として、福岡県と合同で福岡県庁1階ロビーにて原爆パネル展を開催しました。



戦後・被爆80年の節目の取り組みとして、各構成組織にご協力いただいた約5000羽の折り鶴で千羽鶴を作成し、広島へ1000羽、長崎へ4000羽を献納しました。ご協力いただいた皆様に、この場をお借りし御礼申し上げます。

平和行動in沖縄の報告については

れんごうふくおかNo.417 (7月号) をご覧ください→



福岡県最低賃金 1,057円 11月16日発効 特定最低賃金全5業種で改定に向け審議始まる

福岡県の最低賃金は、8月20日開催の第5回福岡地方最低賃金審議会（以下、最賃審議会）において、現行992円から65円引き上げ1,057円とすることで結審し、異議申し立てに対する審議を経て、11月16日発効することが決定しました。

また、福岡県では5業種に適用されている特定最低賃金の改正に向けては、第6回福岡最賃審議会（2025.8.29）で審議し、全業種で「改正必要性有」が全会一致で確認され、今後、業種ごとに改正金額が審議されることになりました。

最低賃金の改正に向けては、生活費が高騰する中、すべての働く人のために、労使交渉を通じて獲得した労働条件を法定最低賃金の引き上げにつなげ、未組織労働者の労働条件向上へ波及に向け、最賃審議会に臨みました。

中央最賃審議会の目安審議では、生計費を重視し、食料やエネルギーをはじめとする生活必需品の上昇状況等を参考に水準議論が行われました。また、地域間格差については「少なくとも地域別最低賃金の最高額に対する最低額の比率を引き続き上昇させていく必要がある」（中賃公益見解）とし、A・Bランク（福岡県）が63円、Cランクが64円の引上げと初めて下位ランクが上位ランクの金額を上回る目安（全国加重平均6.0%）となりました。

この目安を受け、福岡県の最賃審議会において労働側は関係労使意見聴取も含め、①各地域における生活費の高騰による生活費困窮者の実情（消費者物価対前年上昇率が全国平均を上回り、最低賃金近傍で働く者に大きく影響を与える食料品や光熱・水道等の水準が非常に高い水準で上昇している）、②若年労働者の流出など深刻化する人手不足の状況、③中小労組においても5%を超える賃上げ結果であったこと、④パートタイム労働者の募集賃金下限額が、時給1,147円であることや労働分配率が低下傾向にあることなどを主張し、目安額超えでの改定を求めました。

取引価格への労務費等の転嫁が十分に進まない中、企業の支払い能力には一定の限度があり目安通りの引き上げも困難とする使用者側とは、最後まで主張がぶつかり合い意見の一致ができず、公益の最終調整（案）として示された上位県との額差是正につながる目安63円+2円を受入れ、1,057円で結審（公労賛成、使側反対）しました。なお、改正決定の答申に際して、最低賃金の引上げ分を含む労務費上昇分の原資を確保し、適切な価格転嫁や中央最低賃金審議会の「答申日程を早めること」等を盛り込んだ「中小企業・小規模事業者の持続的な賃上げができる環境整備について（建議）」を公労使全会一致で承認し、福岡労働局長へ申し入れました。

また、第6回福岡最賃審議会では、5業種に適用されている特定最低賃金審議会の必要性審議が行われました。関係労使意見発表においては、労働側から「改正必要性有」を力強く訴えられ、審議の結果、全ての業種で「改正必要性有」が全会一致で確認され、業種ごとに公労使で設置される専門部会で改正金額を審議されることになり、10月上旬の結審、年内発効をめざして進められます。

連合福岡では、9月8日・9日に「特定最低賃金改正に向けた情報交換会」を開催し、この間の審議経過や各組織の方針を共有し、今後の審議に向けて情報共有を行いながら連携して進めていくことなどを確認しました。

ワークルール検定2025秋 申し込み開始

検定期間 11月28日（金）・29日（土）

申込期間 9月17日（水）～11月14日（金）

詳しくはワークルール
検定協会HPをご覧ください⇒



過去問（初級）にチャレンジ！



【問題】定年制及び高齢者に対する措置について、誤っているものをひとつ選びなさい。

- 1 定年退職制とは、定年年齢に到達したことにより自動的に労働契約が終了する制度である。
- 2 事業主は、65歳までの雇用確保措置を講じるよう努める必要がある。
- 3 圧倒的に多くの企業が、雇用確保措置のうち、定年後65歳までの継続雇用制度を導入している。
- 4 事業主は、65歳から70歳までの就業確保措置を講じるよう努める必要がある。

正解は最後のページへ

INFORMATION

連合福岡定期中大会公示

連合福岡規約第24条(大会の開催公示)にもとづき、「第28回連合福岡定期大会」を下記のとおり開催する。

記

1. 日時 2025年10月30日(木) 13時00分～
2. 場所 電気ビル みらいホール
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館4F
3. 構成 大会代議員、特別代議員、連合福岡役員
4. 議事
 - (1) 報告
 - ①2024-2025年度活動経過報告
 - ②2025年度会計決算報告
 - ③2025年度決算監査報告
 - ④組織・財政検討委員会中間答申報告
 - (2) 議案審議

第1号議案	2026-2027年度運動方針(案)
第2号議案	2025年度一般会計収支剰余金の処分(案)
第3号議案	2026年度予算(案)
第4号議案	第20期役員を選出

※代議員数など構成組織に関する連絡は連合福岡NEOをご参照ください。

SCHEDULE

- 10月21日 ▶ 第24回四役会議
- 27日 ▶ 第25回執行委員会
- 30日 ▶ 第28回連合福岡定期大会
第1回執行委員会

過去問(初級)にチャレンジ! 正解 2

解説: 高齢者雇用安定法により、事業主は希望者全員に対し65歳までの雇用機会を確保することが法的に義務付けられています。2の「努める必要がある」という表現は努力義務を指しますが、65歳までの雇用確保は法的義務であるため誤りです。

働く人の生活なんでも法律相談

福岡県労協主催

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・労協(地域労協)に電話で予約して下さい。
10時～17時(土日祝日を除く)

エリア	10月	11月	エリア	10月	11月
福岡	14日(火)	11日(火)	遠賀川	24日(金)	28日(金)
	28日(火)	25日(火)			
筑紫・朝倉	7日(火)	4日(火)	北九州	15日(水)	19日(水)
北筑後	21日(火)	18日(火)	京築・田川	1日(水)	5日(水)
南筑後	8日(水)	12日(水)			

がんばるあなたへ

ためる、かいる、ふやす。
生活応援バンク

はたらくあなたの
いちばんそばに。



つかえるろうきん みんなのろうきん
九州ろうきん



こくみん共済 NEWS
4025B002

住まいる共済

火災共済・自然災害共済
熊本県労働組合火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

詳しくはこちらから!

公式キャラクター ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

たすけあいから生まれた保障の生協です。
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

福岡推進本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)